

利根沼田広域消防本部からのお知らせ!

あなたのスマホ・家電は大丈夫?

リチウムイオン電池の火災に注意!



近年、リチウムイオン電池に起因する火災が増加しており、モバイルバッテリーやスマートフォン、電動アシスト自転車用バッテリー等、日常生活において広く普及している製品による発火・発煙事故が全国的に発生しています。リチウムイオン電池による事故を防ぐために、必要な知識を身につけましょう!

絶対にやってはいけない! 4つのNG行為!

1、強い衝撃や圧力を加える ✕

リスク：落下させたり、カバンの奥で押し潰されたりすると、内部ショートを起こして発火します。

対策：落としたり強い衝撃を与えてしまったバッテリーは使用を中止してください。

2、高温の場所に放置する ✕

リスク：熱がこもると内部で異常反応が起き、破裂・発火のリスクが跳ね上がります。

対策：真夏の車内、直射日光の当たる窓際、ストーブの近くには絶対に置かないでください。



3、非純正品や怪しい安価品を使う ✕

リスク：ネットで購入した格安の非純正バッテリーは安全制御が働かずに出火するケースが多発しています。

対策：販売元が確かか確認し、必ず日本の安全基準を満たす「PSEマーク」付きの製品やメーカー指定の充電器などを選んでください。

4、ゴミ箱へそのまま捨てる ✕

リスク：ごみ収集車や処理施設で押し潰され、大規模な火災を引き起こします。

対策：燃えないゴミやプラスチックゴミとして捨てず、回収協力店や自治体の専用窓口に出してください。





見逃さないで!発火の前兆と緊急時の対応!

事故を未然に防ぐためのチェックリストと、万が一の際の対処法です。

○危険なサイン（すぐに使用を中止！）

- ・バッテリーが膨らんでいる、変形している。
- ・充電中や使用中に、触れないほど異様に熱い。
- ・充電が最後までできない、減りが異常に早い。
- ・変な臭いがする、異音が聞こえる。

○万が一、煙が出たり発火したら

- ・初期対応：すぐに電源プラグをコンセントから抜きます。
- ・消火方法：周囲に燃え広がるのを防ぐため、可能であれば大量の水をかけて冷却消火します。
- ・避難：煙（有毒ガス）を吸わないよう、火の手が大きくなったらすぐに避難して119番通報してください。



消防庁では、関係省庁（消費者庁、経済産業省、国土交通省及び環境省）と連携し、リチウムイオン電池による事故を防ぐために必要な情報や、適切な廃棄方法等に関する情報を集約した「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」を開設しました。

詳しくは「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」をご覧ください。



「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」



URL <https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/>